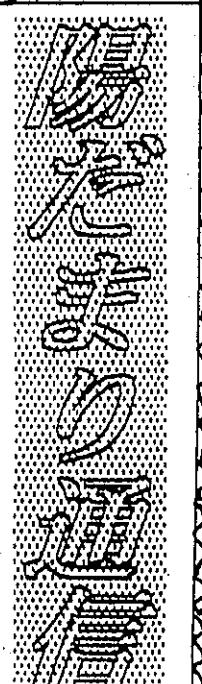


玉

市民福祉活動団体
「陽だまり」事務局東広島市高美が丘六一十四一十一
(〇八一四)二四一一六五九

陽だまり主催 「市民のための地域福祉講座」終わる 一年度へ向けて発進しよう

陽だまり主催の、本年度「市民のための地域福祉講座」が終了した。六月の第一回「陽だまりからみた地域福祉」をかわきり合計五回の講座を、予想を上回る多くの参加者の協力をえて、成果を収めた。その状況についてはその都度本紙上で報告済みである。以下第二回・四回・五回をまとめて報告する。

第三回「心を開く話し方」

八月二十六日(日)、市民のための地域福祉講座第三回「心を開く話し方」が開催され、三十名を超える参加者があった。

講師には「陽だまり」顧問である教育アドバイザー、廣瀬吉夫氏をお招

きし、氏が長年携わってこられた教育現場での力

「話し上手」ということは、聞き上手であるなど、特に悩みを抱え、もつれにあつれた糸のようになつてている人に對しては、聞き上手であること、が鉄則である。そのものが糸をほぐすには何を引き出す。そしてそのためには、じっくりと相手の話を聞くことである。

八月二十六日(日)、市民のための地域福祉講座第三回「心を開く話し方」が開催され、三十名を超える参加者があつた。『共感する』ことが大切

人の話を聞くといふ」と

人の『感情』につき合

うということ。すなわち、

いろいろの事例を交え

ながらの分かりやすい説

明であつたため、聞いた

人が「それ私のこと?」

と思わず振り返ってしまった。

（市川マヤ）

第五回「地域福祉の課題とまとめ」

去る十月二十日、東広

島中央公民館において、

陽だまり主催の最後の、

まとめの地域福祉講座が

開かれた。

講師は竹原市社会福祉

協議会局長の三好一史氏

であった。

三好氏の講演から

地域福祉って何?障害

があるとか、高齢とか

ハンディキャップがある

なしにかかわらず、住

しり、血の通った行政が

めざしている。けれども

制度化されると、ともす

ることで、血の通った行政が

みなれた所で、なじみの入と、普通に暮らしたい。誰でも願うそんな普通の夢をかなえるために、そんな夢をかなえるために、介護家族だけでは無理な状況がある時のために介護保険という制度ができ、現在に至っている。しかし、制度の中ではいろいろな制約があり、本人の

夢《ニーズ》に応えられないとが多い。行政も、いわゆるノーマライゼーションの理念のもとに、社会の中で一緒に暮らしていくことをめざしている。けれども制度の運用にのみはめざしている。けれども制度化されると、ともすると制度の運用にのみはめざしている。けれども

なり抄「子の自戒のことがなる。人間の尊厳を疑いたくなるような言動にありまわされることがある。

★いい年をして若者にさえ笑われてしまうほどのかつかり要請したい。なお市民のための地域福祉講座の記録が、全五回のビデオがある。貸出するので事務局まで

届けたい。「陽だまり抄」子の自戒のことばとして受けとってほしい。(吉)

近頃しきりに年をとるNPO法人などで支えている人達であり、身近では近所の人達である。

とはどういうことであろうかなどとオモッテしま

うかなどとオモッテしま

る。★世の中には「いい年をして」とか「亀の甲

より、年功」などのい

いわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ごろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはどういうことであろうか。せめていいぐあいに

いまわしがある。しかし、年をとりたいものである。

かつてあげる感性が大切である。(桧山康子)

でなく、利用者の夢をわかつてあげることである。

またのが陽だまりであり、

と人をこきおろし、日ご

ろの不満を、弱い、弱い

部分にぶちまけて、いわ

るやがて、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

とはいって、現実には多

くのヘルパーが、各家庭

に入り仕事をしている。

